

37 北関東経済

【第三種郵便物認可】

道の駅などを運営するファーマーズ・フォレスト(宇都宮市)が地元産品の販売拠点を地方に次々設けている。5月に長野県に販売拠点を開設。11月には沖縄県で農水産物販売店をオープンする。地域の特色ある商品販売を担当「地域商社」という機能が注目されているが、東京など大消費地ではなく地方に拠点を設けようとして各地の商材を相互に流通させ狙いもある。

長野では綿半ホールディングスと組み、食品买入販売店舗「綿半スープセンター」千曲店が、地元の長野(長野県千曲市)内に販売の農産物や加工品などを売っている。柄販売している。

ファーマーズ・フォレスト



沖縄の「うるマルシェ」の工事が進んでいる

地元産品販売 地方に拠点

長野と沖縄に開設 商材の相互流通も

長野でも農業は盛んだ。本のほか、ファーマーズ・フォレストが支店を構える沖縄や、地元の長野(長野県千曲市)内に販売の農産物や加工品などをある。今は綿半の他の店舗内にも売り場を設け、室内にも開設準備室も開いている。

長野では綿半ホールディングスと組み、食品买入販売店舗「綿半スープセンター」千曲店が、地元の長野(長野県千曲市)内に販売の農産物や加工品などをある。今は綿半の他の店舗内にも開設準備室も開いている。

沖縄県うるま市では11月にオープンする市の農水産振興戦略拠点施設「うるマルシェ」を、現地のまちづくり会社と共に運営する。約1万3千平方㍍の敷地面積に直売所やレストランなどが入る。沖縄の農水産物のほか、ファーマーズ・フォレストが取り扱う柄木の商品などを販売する。沖縄市には2016年に支店を設立している。今後は地方でも販路を広げるとともに、各地の気候の異なる沖縄で、宇都宮市の大谷地域で収穫される大谷蜜(ひばり蜜)を販売する。東京で販売している。地元産品を相互に販賣する動きが生まれ、地域商社としての機能をより発揮できる。5年後には沖縄はアジア各国との結びつきが強く、各国のバイヤーなどの人脈を作りやすい。今後は沖縄を通じて「海外への販路開拓も目指す」(松木謙社長)という。

北関東